

## こども博物館と図書コーナー

このエリアでは、三瓶山の自然をインタラクティブに五感（触覚、視覚、匂い）を使って体験できる方法で紹介する。ボタンを押せば三瓶山の森や草原に生息する虫や鳥の鳴き声が聞こえ、三瓶原生の動物の本物の毛皮を触ることもできる。においを嗅げる展示もあり、ミズメ、クロモジ、サンショウ、コウタケのサンプルから、三瓶山の植物の香りを実際に体験できる。

「夜の森」コーナーにはアカギツネやテンなどといったいくつかの三瓶山の滅多にしか見られない夜行性動物のはく製が展示されている。メインエリアの後壁には大きなガラス窓があり、自然館を取り囲む森を見渡せる。ここには椅子や望遠鏡が据え付けられており、しばらく観察すれば自然館のすぐそばにある小川にやって来た動物たちの姿を垣間見ることができるかもしれない。右奥のこども図書コーナーには、地域の動物について美しい絵で図解された蔵書がある。